サケの観察日記⑥

2019年
3月
4日
月曜日

成長に差がでてきました

エサをあげるようになって1週間。すべてのサケが仔魚から稚魚になったので、安心してエサをあげられます。

水質のために、すぐに食べきれる量を1日何回かにわけてあげていましたが、エサを食べるのがじょうずなサケとヘタなサケで成長に差がでてきました。

少しずつエサをあげていると、弱いサケはいつも他のサケにエサをとられてしまいます。

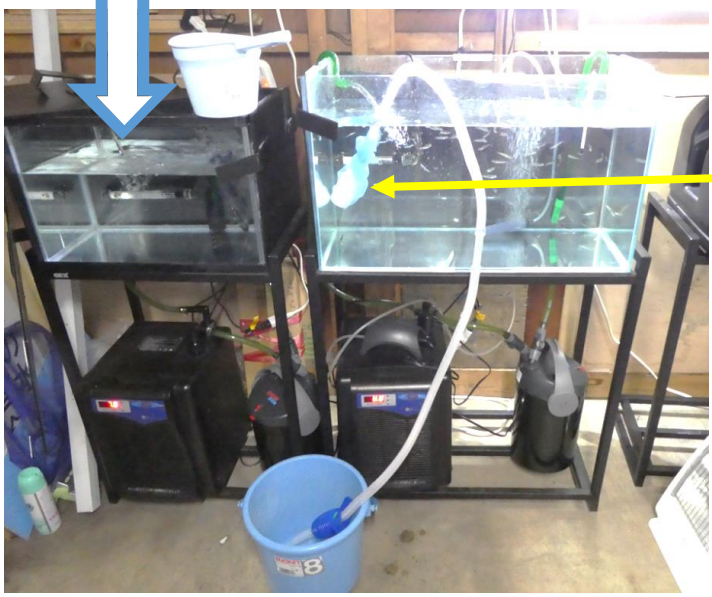
そこで多めにエサをあげて、みんながエサを食べてから残ったエサをポンプで吸いとることにしました。残ったエサは水を汚すので、そのままにはしておけません。

きれいな水をためている水槽

ポンプでエサやフンを吸いとると水も減ります。水を足すとき、水道水は使えないので、普通はバケツに水をくんでおいて塩素がなくなってから使います。

今年は水槽があいていたので、くみ置きして塩素をとった水を一度その水槽に入れて、水温を同じにしてからサケの水槽に使っています。

急な水温の変化はサケにとって大きなストレスなのです。



ポンプの吸いこみ口

ここにアミをかぶせて水槽のそうじをしています。

アミをかぶせなくてもサケの稚魚が中まで吸いこまれることはないのですが、アミがあった方が吸い寄せられたサケが離れやすいのです。

あさひかわしどぼくぶこうえんか
旭川市土木部公園みどり課